8月 ほけんだより

2022 年度　No..5
聖 星 保 育 園

梅雨明けから１ケ月が経過しようとしています。7 月の中旬からギラギラの太陽とともにセミの鳴き声も加わり暑さもさらにパワーアップしたように感じます。そろそろ疲労がたまってくる時期です。7 月後半は発熱や風邪症状のお子さまも多く、大人が疲れを感じるように、子どもも言葉に表さなくても疲れてきているころです。疲れた時は涼しいところでゆっくり休息をとり、おいしいものを食べて、元気をとり戻しましょう。

【７／１～７／２８現在】
ＲＳウイルス　　１２名　咽頭結膜熱（プール熱）２名
ヘルパンギーナ　１名

蚊に刺されると、すごくはれるのはなぜ？

蚊は、血液を吸うときに自分の口から唾液の成分を私たちの体に注入します。この成分に、免疫が過剰に反応してアレルギーを起こし、はれやかゆみを起こします。

ただ、蚊に刺されたことのない赤ちゃんや小さな子どもでは、体の中でアレルギーが起こるのに時間がかかり、反応も強くなります。そのため、少し時間がたってから、すごくはれてびっくりすることがあります。

１～２日後にはれてくる

刺された翌日くらいから、赤くはれたり、水ぶくれになったりし、数日続きます。

ひどいときは病院へ

炎症を抑えるステロイドの塗り薬が必要な場合がありますし、水ぶくれからばい菌が入る危険があります。ひどいときは早めに小児科や皮膚科で相談しましょう。

「たかが蚊」とあなどらないで

赤ちゃんのころは蚊に刺されるとひどくはれていたのが、成長とともに、ちょっとふくれて、１～２時間ほどで治まるようになってきます。「これなら大丈夫」と思いたいところですが、子どもはかき壊して傷になることがあるので注意しましょう。

虫を寄せつけない工夫も大事

長そで、長ズボンで肌を覆う、虫よけを適切に使うなどで、蚊に刺されるのを防ぎます。

かき壊しから皮膚トラブルになることも

虫刺されをかいて皮膚に傷ができ、そこからばい菌が入り「とびひ」などの皮膚トラブルを起こすことがあります。かき壊しを防ぐためには、次のポイントに気をつけましょう。

かゆみをやわらげる　Point

かゆみ止めを塗ったり、水で冷やしたりしてかゆみをやわらげます。

つめを切る

つめが伸びていると皮膚を傷つけます。短く切って、角はやすりなどで削ってあげましょう。

新型コロナウイルス感染症情報

７月に入り、神奈川県全体の新型コロナ感染者数が日に日に増えてきました。金沢区内の学校でも夏休み前に学級閉鎖になり、今までにない感染の広がりをみせています。感染者数が増えつつも、夏のイベントも多く、さらなる拡大が懸念されます。

日本国内でも急速に BA.5 に置き換わっています

新型コロナ オミクロン株亜系統 BA.5 による症状は？

～この表↑からみえてくるもの～

「熱がないから大丈夫」「熱がないから保育園行ける」と安心してはいけません。

熱がなくても、咳や倦怠感・鼻水でも新型コロナウイルス感染症の可能性があります。他のウイルス感染症や風邪との見分けは私たちにはできません。
熱だけではなく他の症状でも休める時は登園を控え、受診をする、ご家庭で十分な休息をとるなどの早目の対応にご協力をお願いします。

一番多いのは「倦怠感」、子どもにとっての倦怠感って何？

乳幼児は「身体がだるい」と言葉に表すことは難しいです。大人が子ども観察して「だるそうだな」と思うときはどんなときでしょう。

保育士に聞くと「機嫌が悪い」「いつもよりゴロゴロする時間が長い」「動作が鈍い、よろける」「ぼーっとしている」「表情が乏しい」など、<u>普段と違う様子がいくつか見られた時</u>に「だるいのかな？」と感じるそうです。

今後も BA.5型と BA.2.75 型(ケンタウロス)に十分警戒が必要です！

BA.5 型は人の免疫防御をすり抜けられるのが特徴でワクチン接種が進んでいても、感染人数最多をいわれるほどの感染力です。そして新に BA.2.75 型（ケンタウロス）が出てきました。これは感染力が BA.5 型の３倍といわれていますが、まだまだわからない点が多いです。今後の感染情報に注目しましょう。

<u>感染人数が増えてきた今、もう一度、それぞれの感染症対策を見直してみましょう！</u>